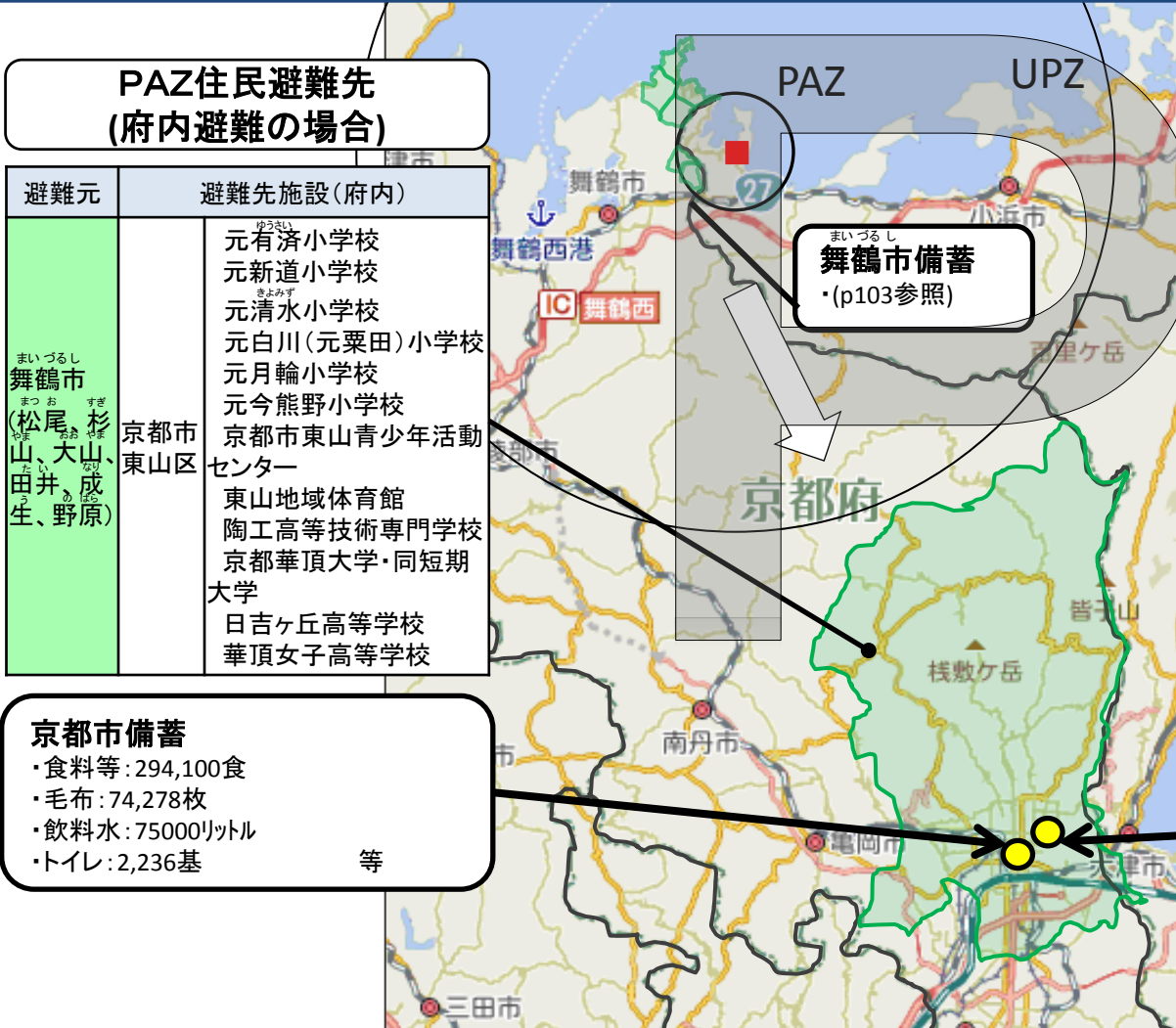


舞鶴市からのPAZ内避難時（府内避難）の物資備蓄・供給体制

- 舞鶴市のPAZ内からの避難住民の受入れ時には、受入先自治体による備蓄のほか、京都府及び舞鶴市による備蓄、さらには京都府及び舞鶴市と災害時協定を締結している指定業者等からの流通備蓄、日本赤十字社京都府支部に備蓄された物資(食料等の生活用品)等を、京都府トラック協会等の協力を得て、避難施設に搬送する。
- 京都府及び関係市町が備蓄している物資が不足する場合、京都府から、国の原子力災害対策本部に対し物資調達の要請を行う。



PAZ住民避難先 (府内避難の場合)

避難元	避難先施設(府内)
舞鶴市 (松尾、杉山、大山、田井、成生、野原)	<ul style="list-style-type: none"> 元有濟小学校 元新道小学校 元清水小学校 元白川(元粟田)小学校 元月輪小学校 元今熊野小学校 京都市東山青少年活動センター 東山地域体育館 陶工高等技術専門学校 京都華頂大学・同短期大学 日吉ヶ丘高等学校 華頂女子高等学校

京都市備蓄

- ・食料等：294,100食
- ・毛布：74,278枚
- ・飲料水：75000リットル
- ・トイレ：2,236基

等

	協定の種類	内容
京都府	災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定 ほか2協定	災害時における応急対策物資供給等
舞鶴市	災害時における物資の供給応援に関する協定 ほか3協定	災害時における応急生活物資等の供給

避難元自治体による流通備蓄

- ・食料品、飲料水、日用品、衣料品
- ・その他舞鶴市が指定する物資

京都府京都倉庫備蓄

- ・食料：26,294食
- ・毛布：4,082枚
- ・子ども用おむつ：13,020枚
- ・簡易トイレ：668セット

等

(※)物資備蓄数は概数

舞鶴市からのPAZ内避難時（府外避難）の物資備蓄・供給体制

- 舞鶴市のPAZ内からの避難住民の受入れ時には、受入先自治体の支援のほか、京都府舞鶴市の調達した物資、日本赤十字社兵庫県支部に備蓄された物資（毛布等の生活用品）等を、京都府トラック協会等の協力を得て、避難施設に搬送する。
- 広域避難の際の避難所の運営に必要な物資については、避難元・避難先が協力して確保をする。また、原子力事故による単独災害時には、物資の流通網は健全なことが想定されるため、避難先の民間事業者等から食料品をはじめ生活用品等の調達を積極的に行う。
- 物資が不足する場合には、京都府から、国の原子力災害対策本部等に対し物資調達の要請を行う。



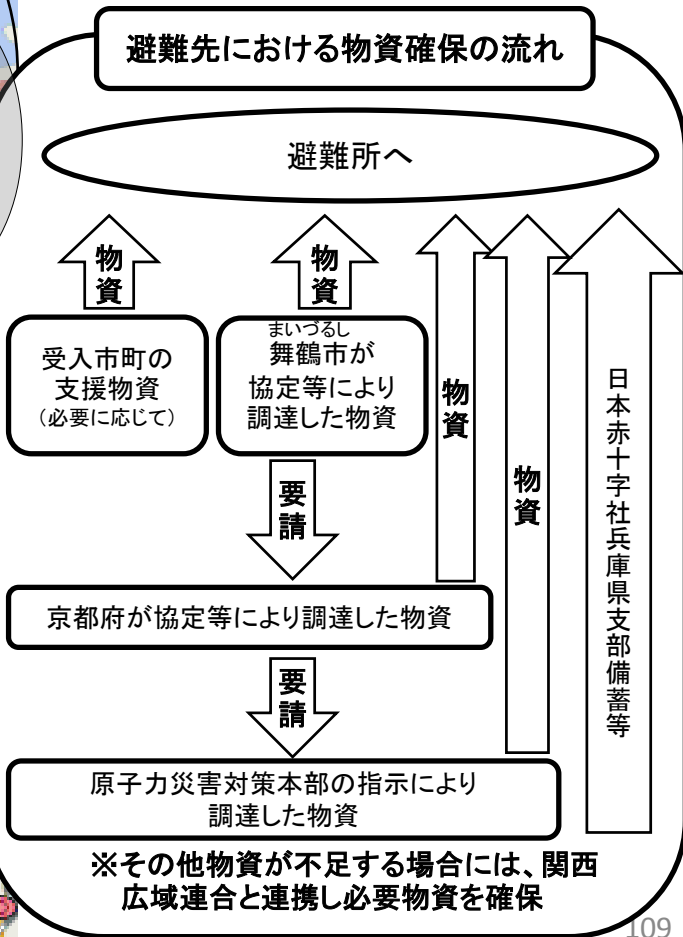
PAZ住民避難先 (府外避難の場合)

避難元	避難先(県外)	
舞鶴市 (松尾、杉山、大杉山、田井成生、野原)	兵庫県神戸市	田園スポーツ公園 他1施設

日本赤十字社兵庫県支部備蓄

- ・毛布：5,358枚
- ・緊急セット(携帯ラジオ、懐中電灯等)：2,735セット
- ・安眠セット(マット・枕等)：465個 等

(※) 物資備蓄数は概数



福井県における物資の調達・供給

- 物資供給の迅速性を高めるため、国や他都道府県からの大量の支援物資を円滑に受け入れ・仕分けし、避難先等に搬送するため広域物流拠点を指定※。広域物流拠点では、市町の要求を踏まえて必要な食糧や物資を分別し、住民の避難先等や一時集結拠点到に輸送。なお、市町からの要求を待ついとまがないと認められるときは、要求を待たないで、市町に対する物資の輸送を行う。

※福井県にて指定している広域物流拠点の他にも、協定に基づき、倉庫協会に所属する倉庫業者の倉庫も物流拠点として活用。

- 一時集結拠点では、地域住民のニーズ等を踏まえた物資供給に関する各種要請を行う。
- 広域物流拠点・一時集結拠点は、防災業務関係者への災害関係情報の提供拠点としても活用。

